



「新成人の集い」実行委員のメンバー

新成人 に聞く

行動や言動に責任が取れる

大人になりたい

今年町内で成人式の対象となる方は二百五十三人。「大人を実感したとき」、「理想の大人とは・・・」。成人式を迎える二十歳の若者に、今思うことを考えることを聞きました。

一月十一日は阿久比町成人式です。今年も平成元年四月二日から平成二年四月一日までに生まれた方で、二百五十三人の皆さんが対象です。

成人式は二部構成で行われていきます。一部は町が主催で式を開き、新成人を祝い、二部では「新成人の集い」を新成人が自分たちで企画しています。

十一月に「新成人の集い」実行委員会が立ち上がりました。公募し、集まったメンバーは十五人。阿久比中学校を卒業して五年、久しぶりに昔の仲間が集まりました。学校や仕事の終わった後に中央公民館に集まり、式典の打ち合わせやアトラクションの準備を進めています。

そこで毎年恒例ですが、実行委員のメンバーに大人への第一歩を踏み出す二十歳の代表として、成人を迎

えて思うことや考えることを聞いてみました。また、今回は実行委員がケーブルテレビ「CAC」の番組『アンダーポイント』のこの辺の話題ですけどが・・・（一月放送分）に出演し、収録で「大人への思い」について語ったことも併せて紹介します。

大人を実感したとき、大人とは？

「人に年齢を聞かれて『二十歳』と口に出して答えたとき」。

「選挙に行ったとき。僕たちの一票で国が動くかもしれないと思うと、棄権はできないと思いました」。

「夜一人で外を歩けるようになったとき。後ろを振り向く回数が減りました」。

「仲間とお酒を飲みに行くと、愚痴を聞いたり、悩みを相談したりする



ケーブルテレビ「CAC」収録の様子

とき」。

「精神面では、親に頼ってばかりいるので、まだまだ大人の実感はありません。結婚して自分が子どもを産んで親になったとき、始めて大人を実感するのかもしれない」。

「就職して自分でお金を稼ぐようになったとき」。

「就職先や地域で社会に貢献できるようになったとき」。

「一人で契約書にサインをしたとき」。